

# 文書館ボランティアによる下張り文書の整理

## 広島県立文書館

広島県立文書館では、令和5年5月から「広島県立文書館ボランティア」の活動を開始し、令和6年8月26日に活動100回目を迎えました。現在も、9名のボランティアの皆さんが、毎週月曜日と水曜日に、古文書の整理と目録作成を行っています。また、今年度から、文書館の収蔵古文書の解読も少しずつ進めています。ここでは、これまでの活動の中から、資料保存の専門家のご指導のもとで取り組んだ、屏風や襖の下張り文書の整理について紹介します。



### 広島県立文書館ボランティアの活動

- ・活動日時 毎週月・水曜日 10:00～15:00
- ・活動場所 文書館研修室
- ・活動内容 古文書の整理、文書の簡易な補修  
襖の下張り文書の整理  
古文書解読 ほか

◀活動100回目を迎えたボランティアの皆さん（令和6年8月26日）

## 1 「平成30年西日本豪雨」で被災した屏風下張り文書の整理

### (1) 被災した屏風の受け入れ

受入日時 平成30年7月19日

受入点数 屏風4隻（木箱入）

呉市のごみ処理施設から、災害ごみの中の下張り文書のある屏風4隻の対処について連絡があったため、当館で受け入れて、乾燥作業と殺菌燻蒸を行って保管。



### (2) 屏風下張り文書の解体と剥離

活動日 令和5年10月19日

指導 国立歴史民俗博物館 天野真志氏  
東京大学史料編纂所 山口悟史氏  
安田女子大学 安田容子氏

参加者 広島県立文書館ボランティア4名  
文書館職員 3名



### (3) 剥離作業の手順



① 屏風の寸法を計測する。



② 屏風の縁をバールなどで取り外す。



③ 屏風の各層ごとの文書に番号をつけて、文書の状態をスケッチし、デジカメで撮影して記録する。



④ 各層の下張り文書を1点ずつ竹べらなどを使って丁寧にはがす。

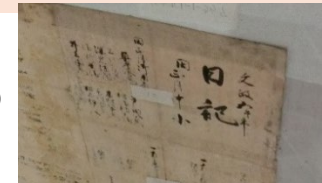


### 剥離した下張り文書

屏風1隻の第1扇（No.1-1）

- ・No.1-1-表 5枚
- ・No.1-1-裏 110枚

No.1-1 裏7層目・10層目には、文政年間の伊予松山の日記なども含まれている。



⑤ はがし終えた文書を、各層ごとに番号順に重ねて薄葉紙で包み、保存箱に収納する。



## 2 襖下張り文書(吉岡家文書)の整理

### (1) 吉岡家文書について

平成9年 経営関係帳簿など64点を当館へ寄贈

平成10年 襖3点を追加寄贈

吉岡家は、明治末期から賀茂郡西条町(現東広島市西条本町)本通りで呉服店を営んでいた家。襖には下張り文書があり、近世期(文政・天保など)の村政や治安に関するものが含まれています。吉岡家の屋敷は、西条四日市の西国街道沿いにあり、かつて四日市の庄屋を務めた坪島家の屋敷の一部でした。下張り文書には、坪島家の当主の名前が記された帳簿などが含まれており、近世の四日市の町の歴史を紐解く貴重な資料として、活用が期待されます。

### (2) 襖下張り文書の解体と剥離

活動日 令和5年12月11日・12日・18日

令和6年1月29日～31日、2月5日・7日

指導 神戸大学 松下正和氏

兵庫県立歴史博物館 吉原大志氏

参加者 広島県立文書館ボランティア 9名

文書館職員 7名

他館(博物館)職員 2名

吉岡家襖No.1-表の構造

下張りの層	下張り文書の点数と内容
1層目(表紙)	3層まとめて剥離、文書なし。
2層目(上浮け)	
3層目(下浮け)	
4層目(裏紙)	16点(田島持高座ほか)
5層目(裏紙)	88点(四日市の治安、村政、油紋関係ほか)
6層目(裏紙)	27点(横長版面の反故ほか)
7層目(骨紙)	30点(近世の四日市に関する日記ほか)
下地骨	(中組子 縦4本・横11本)

### (3) 剥離作業の手順



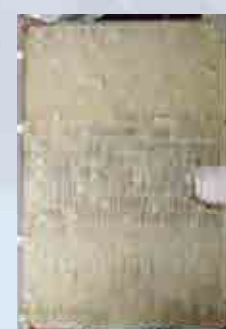
① 作業前のレクチャー



② 襖の縁を計測する。



③ 襖の縁をボールなどで取り除く。④ 下張り文書に番号をつけてラベルを添付し、撮影する。



⑥ 各層ごとに下張り文書をスケッチして記録する。⑦ 下張り文書を水で湿らせて、ビニールで覆ってしばらく置く。



⑧ 文書を1点ずつ丁寧にはがす。



⑨ 剥離した文書を乾燥させる。

### (4) 剥離後の下張り文書の補修(典具帖紙を使った裏打ち・表打ち)



① 水で湿らせた文書に典具帖紙をのせて、刷毛で糊をつける。



② 不織布をのせて吸水紙ではさみ、乾燥させる。



### ◆◆◆ ボランティアのみなさんの感想 ◆◆◆

- ・「襖の下張り」について漠然としたイメージを持っていたが、今回、作業した襖は、下張りが7層になっていて、予想をはるかに越えるものだった。
- ・種々のはがしテクニックを教わり、又、それを実践でき、有意義だった。
- ・下張りをはがす前の下準備、写真を撮る、目録作成等が大切であると感じた。
- ・専門家の指導を受けて、作業の手順、作業のコツを学んだうえでの共同作業で、楽しく取り組むことができた。
- ・整理した下張り文書を解読して、ボランティアで分析作業をおこない、まとめたい。